

ペットクルーレセプション 必要な機材

ペットクルーカルテ向けセルフ来院受付機能「ペットクルーレセプション」導入について、必要な機器をご案内します。

必要な機器

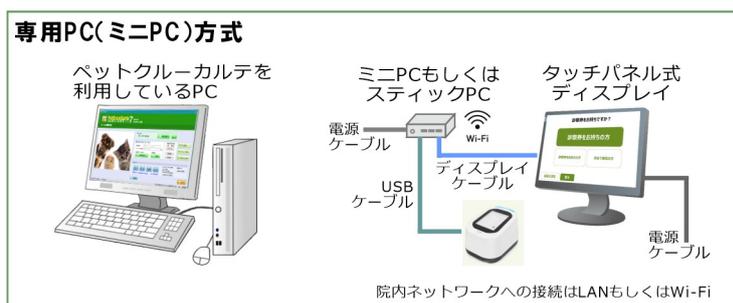
- ① タッチパネル操作が可能な受付端末
- ② QRコードリーダー
- ③ QRコードを印刷するラベルプリンタ
- ④ 問診票入力用タブレット（新患登録用）
- ⑤ その他機材（スタンドなど）

① タッチパネル操作が可能な受付端末

病院の受付に設置し、飼い主自らが来院受付を行う端末です。 端末の接続方式によって必要な機器が異なります。 大き目のディスプレイのほうが入力しやすいです。

専用 PC（ミニ PC）方式：

ペットクルーカルテ用の PC と同時利用ができませんのでペットクルーレセプション専用の PC を用意します。 PC としての性能はあまり要求されませんのでミニ PC やスティック PC で十分です。



メリット

- ・低コスト
- ミニ PC：2～5万円前後が多い
- モニタ：2万円前後が多い

デメリット

- ・ミニ PC の設置場所の確保
- ・配線が多く設置場所が限られる

必要な機器：

- ・ミニ PC もしくはスティック PC
- ・Windows のセットアップ、アプリインストールや設定時にキーボードやマウスが必要
- ・タッチパネル式ディスプレイ（8～14 インチ程度）
- ・QRコードリーダー

Windows タブレット方式：

受付端末として専用の Windows タブレットを用意し、院内の Wi-Fi に接続して使用します。



メリット

- ・設置場所の自由度が高い
- ・配線がシンプル

デメリット

- ・Windows タブレットが高価
- 注：iPad や Android は利用不可

必要な機器：

- ・Windows タブレット PC（マイクロソフト Surface Pro や Surface Go など）
- ・QRコードリーダー（PC のインカメラがあれば代替可能※）
- ※注：診察券の QR コードのサイズに制限あり

②QRコードリーダー

診察券に貼られたQRコードを読み込む卓上機器

Windows タブレットのインカメラを使用すればこのリーダーは不要ですが、読み取り可能なQRコードのサイズの制限や、読み取る際にカメラとの距離や位置合わせが難しいため、設置場所に余裕があれば卓上QRコードリーダーの設置を推奨

接続方法：USB ケーブル

電源接続：USB による給電（ただし機器による）

製品サンプル



3千円～1万5千ほど

② QRコードを印刷するラベルプリンタ

QRコードを印刷するためにラベルプリンタが必要です。 ペットクルーカルテの顧客管理画面から顧客番号情報が入ったQRコードと顧客名を印字し、診察券に貼ります。

ブラザー ピータッチ PT-P750W（今後対応機を増やす予定）
9mm、12mm、18mm、24mmのテープに対応

印刷例

	9mm幅
	12mm幅
	18mm幅
	24mm幅

タブレットのインカメラを使用する場合、9mm幅や12mm幅では読み取りが難しいためお勧めしません。

診察券のデザイン時、テープを貼るスペースを空けてデザインしてください・



診察券にQRコードが無くて、顧客番号(診察券番号)や電話番号でも来院受付が可能なため、システム導入初期からすべての診察券にQRコードが貼られていなくても来院受付は可能です。

システム導入後に来院された時点で診察券にQRコードを貼り、「次回からはQRコードを読み込んで受付してください」とお願いしてください。

④問診票入力用機器について

初めて来院した人が来院受付をする場合、名前と連れてきたペット数だけ登録して受付を完了します。その後、飼主自身のスマホか病院が用意したタブレットを使用して問診票を入力してもらいます。

問診票入力端末について

- **【推奨】** 顧客自身のスマホを利用して入力
入力する内容は個人情報のため、飼主自身のスマホを利用してもらうのが一番安全です。
- 病院がタブレットを用意する場合
 - ・ iPad
 - ・ Android タブレット （あまりお勧めしません）

要求仕様：

- ・ 通信機能（Wi-Fi もしくは SIM による通信）
 - ・ ブラウザを使用してインターネットへ接続
- 注：インターネットに接続できればいいので、性能的に高速である必要はありません。

Android タブレットを推奨しない理由：

- ・ 正しく設定・使用しないと前の方が入力した内容が次の人に表示されてしまい、個人情報の漏洩の危険性が非常に高いため
- ・ セキュリティの高いシークレットモードで問診票ページにアクセスするには URL の手入力が必要で操作に手間がかかるため

⑥その他機材

必須ではありませんが、用意することを推奨する機材です。

- ・ タブレットスタンド

注：専用 PC 方式において、卓上（受付カウンターなど）もしくは床にスタンドを使用して設置する場合



タブレットには電源ケーブルを接続する必要があります。ケーブルの配線（引き回し）に注意してください。

使用するタブレット(モニタ)のサイズに合わせて用意してください。

盗難防止用のロックがあるスタンドか、簡単に取り外せない機構のあるスタンドのほうが安心です。

サブモニタ方式の場合、モニタにスタンドが付いている場合は不要。